

1976 (毎月1回) (発行)

12月号

(村の面積)

332.60km²

発行所 福井県大野郡和泉村



(昭和51年11月1日現在)

村の人口	
総人口	1,969 人
男	1,009 人
女	960 人
出生	2 人
死亡	1 人
転入	3 人
転出	6 人
世帯数	563 世帯

影路トンネルが完成



湖面廻り 2,300m
直線 602.5m

十一月八日 開通式を挙げる

冬期間の交通で最も難所とされていた、影路トンネルがこの程完成し、十一月八日開通式が行われました。

このトンネルは昭和四十七年に着工し、総延長六〇二、五米、巾員八、五米、車道六、〇米で車道の両側に七五センチの歩道がついています。

又、トンネルの両側には事故発生などのときの掲示板をはじめ緊急電話等近代的な設備が設置されています。

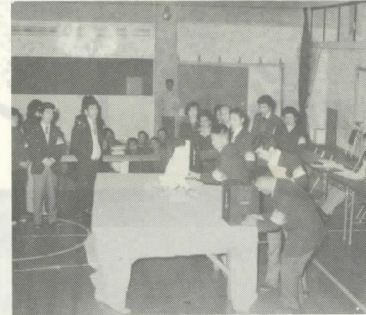
◎主な工事
総工事費 八二〇、〇〇〇千円
防災照明関係費

衆議院議員総選挙終る

投票率八九・八八%

第三十四回衆議院議員総選挙は去る十二月五日執行され選挙史上三度目の師走選挙となり、今年の締めくくりとなりました。

本村の開票結果は次表のとおりですが、投票率は県平均を四、四六%上廻る八九・八八%となり、前回の七八・四三%に比べて一、四三%も上廻り、衆議院議員総選挙では最高の投票率となりました。



《開票結果》

選挙 候補者名	今回 (51.12)		前回 (47.12)		前々回 (44.12)	
	得票数	%	得票数	%	得票数	%
堂森芳夫	58	4.76	113	9.55	177	13.19
坂口章	20	1.64	34	2.87		
坪川信三	52	4.27	39	3.30	209	15.57
福田三一	589	48.32	591	49.96	418	31.35
竹内啓	7	0.57	18	1.52		
植木庚子郎	12	0.98	70	5.92	196	14.61
たばた政一郎	324	26.58	311	26.29		
しげの誠男			7	0.59		
落合栄一					26	1.94
斉藤敬一					296	22.06
松崎芳伸					15	1.12
加藤藤幾					5	0.36
横手文雄	20	1.64				
中野弘則	82	6.73				
平野泉涉	45	3.69				
牧野隆守	10	0.82				
計	1,219	100	1,183	100	1,342	100

《投票状況》

区間 年次	当日の有権者数			投票者			棄権者			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
今回	685	678	1,363	619	606	1,225	66	72	138	90.37	89.38	89.88
前47年12月	784	746	1,530	630	570	1,200	154	176	330	80.36	76.41	78.43
前々44年12月	801	793	1,594	696	657	1,353	105	136	241	86.89	82.85	84.88

輝く栄賞 博報賞受賞

大納小学校

十一月十二日、東京都博報堂より国語部門における優秀な業績に対し、博報賞が授与されました。

同校は去る十月二十日にも、中日教育賞を受賞しており、全国でも例をみないダブル受賞に、先生方や児童のみならず、心からよろこんでおられました。

日々、きめ細かな実践を通して国語能力の育成につとめてこられた成果が、高く評価されたわけで本村教育界に輝かしい一ページを加えられたことに深く敬意を表す

ると共に、これを機会に、更に大きな飛躍を期待したいと思います。尚、両賞の受賞記念集は十一月二十二日に関係者多数を迎えて盛大に開催されました。

主産地づくりをめざして

和泉村林産物生産促進組合

日本のおうれん生産量の九六%が福井県で生産され、その九〇%が奥越地方(西谷、五箇、和泉)で生産されています。



和泉村でも、在来のおうれん畑は約一〇〇ha(一〇〇町歩)と推定されていますが、昭和五十年におうれんを和泉村の特産品に村民意を決して、和泉村林産物生産促進組合が発足しました。

共同種苗畑造成事業により早期山行苗を生産すると共に、植付、播種事業により昭和五十六年度までに五〇haのおうれん畑の造成を目標として主産地づくりに専念し

ています。



スリップ事故の防止について

十一月二十七日から、降り続いた雪は、十一月三十日現在で、積雪約五十センチメートルに達し、和泉村一面が、白一色に変わり、路面は、滑りやすい状態になっています。

このため、自動車を運転する方は、スリップ事故を防止するため(一)スノータイヤ、チェーン装着(二)気象情報に注意する(三)急ハンドル・急ブレーキの禁止

(四)スピードの大幅ダウン(五)自動車で、出かける時は、家族に連絡する等の点を守り、安全運転を励行し、事故防止に努めて下さい。

人権について

人権擁護委員 宇野重尊

自由人権の思想、また人権擁護委員制度については先賢諸賢の御努力と相俟って和泉村内には充分行き渡っており、若輩の私以上にどなたも御理解しておいでなようでありませう。

然し乍ら特設相談所開催等を通じ私の浅い経験によりますと皆さんと共に今一度考えてみたいことが二、三ありますので、限られた紙面上、その一つ二つを問題点として掲げさせて頂きます。

その一つは、委員会がうける相談の大部分は、不動産の相続に関するものが最も多く、是にまつわる家庭上の問題、或は不動産についての利害関係のようでありませう。

勿論このことは物権、所有権の問題であつて選挙権等と共に人権に属する重要な権利ではありますが、人権と言へば、村民の誰しもが先づ頭にピンとくるのが「物権」であるとしたら、文字に書いても分るように「人権」と「物権」とは「人」と「物」の違いがあるのではあるまいか。

日本国憲法第三章は、「国民」の権利及び義務を規定した、「国民」という所に「人」がある。人となれば強調せらるるものは精神であり思想であつて、それが「自由平等」という文字表現だと思つてあります。

そこで、人権と言へば自由平等の理念から出ているのでありますから、具体的に、精神が物に現れれば自他平等の相（スガタ）となりませう。自分の利（利益・権利）のみを振り廻わして、他人の利（利益・権利）をかえり見ようとするものを排除しよう—これが制限規定（圧迫と差別を含む）であると思つてあります。自由平等の崇高な理念のもとに圧迫に対しては抵抗し差別は撤廃する—ここに人類普遍の努力が永遠に続くことでありませう。不動産の相続登記が行われる場合、多くの人はその大部分を長男に相続させるために母親と長男以外の兄弟姉妹は権利放棄の手續きをするのが常識化していますが、是は新憲法を「おしつけられた憲法」として受けて立つた姿勢に過ぎないのではあるまいかと思つてあります。

アメリカにおける黒人差別問題がいぜんとして根深いものがあるように、自分の心の中に（精神）何か根深いものがありはしないだろうか？これが私の反省であります。

二番目に考えたいことは、（内容的には前記の事と違ひはないのですが）「人権尊重」という「尊重」についてであります。近時日本人が外国で「エコノミックアマール」と評されて嫌われていると聞きました。「エコノミックア

マル」とは「経済学の動物」という意味でございませう。動物といわれる所に「人間じやない」という意味を含むと解します。何と皆さん大和民族として是程の人権を無視した言葉はないではありませんか。何ともやさしい次第だと思つてあります。人権無視ということば言葉の上にもあることを充分注意したいものです。外国へ出かけた日本のお方の中に「何を何と言われようともうけさえすればよいのだ」という意気ごみで活躍されたお方があつたのではあるまいか。自分尊重しない者は他から「人間じやない」と人権を無視される、反対に、他人の人権を尊重する者は他人から自分の人権が尊重される……ではあるまいかと私は思つてあります。（自分を尊重すべきことは犬や猫でも知つている筈でございます。外国人がアニマル（動物）だと言つて「動物（犬や猫）以下だ」と言つてくれなかつたことに感謝しましょう。）

善意の箱

和泉村民生委員協議会

昭和四十八年和泉村民生委員協議会の活動として箱ヶ瀬地区九頭竜観光KKの御理解ある協力により白馬洞入口に「善意箱」を設置いたしました。そして昭和五十年には更により多くの人々の善意を求めようと日本亜鉛鋳業KKの御好意により、中竜購買会の前に設置いたしました。そして毎年十一月末日に、これを撤収して、役場住民課長厚生主任、民生委員の立会いの上で開箱いたします。そして皆様の善意は「歳末たすけあい」募金に繰り入れて、村内ねたきり老人又は村内からの施設入居者、その他四十三名の方に歳末お見舞としておとどけいたします。

善意箱募金状況

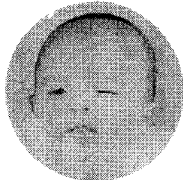
昭和四十八年
箱ヶ瀬地区善意箱
二九、二〇二円

昭和四十九年
箱ヶ瀬地区善意箱
四〇、一三三円



人のうづき

- 赤ちゃん誕生
 - 上大納 新宮 恒広 和喜の長男
 - 島田 知明 芳文の長男
- 死
 - 後野 清水チマヨ 六二才
 - 婚
 - 角野 田中 彰治
 - 角野 西 敦子



島田知明ちゃん

昭和五十年
箱ヶ瀬地区善意箱
中竜地区 善意箱
一三、一〇〇円

昭和五十一年
箱ヶ瀬地区善意箱
中竜地区 善意箱
二四、一二七円

日頃皆様の御好意を感謝申し上げますと共に今後共向一層の御協力を御願いたします。

村民バレーボール大会だより

和泉村体育協会

冬のおとずれを間近にひかえた去る十一月二十一日、村民体育館において、本年最後の大会である村民バレーボール大会が、開催された。

大会は、村民の最も熱心なスポーツであり、特技であるバレーとあって、男子六チーム、女子五チーム、総勢九十余名の村民が参加し、熱気と興奮の中で、行なわれた。

村民の友好と連帯意識の向揚をめざした当体協行事もようやく実り、選手みずから競技役員を務め和気あいあいのうちに、競技を終



冬山遭難事故をなくそう

大野警察署

冬山シーズンを迎え、登山者は装備を充分整えないでムリな計画で登山したり、天候、積雪を無視

えた。優勝した九頭竜チーム・中

童婦人会チームには、福井新聞社より盾とメダルが贈られ、拍手とともに、大会の幕は閉じられた。

〈結果〉

◎男子の部

優勝 九頭竜チーム

次勝 朝日Aチーム

三位 朝日Bチーム

◎女子の部

優勝 中竜主婦会チーム

次勝 大納婦人会チーム

三位 中竜婦人会チーム

し雪崩などの遭難事故にあうなどで尊い生命をなくしている場合が多くみられます。

一、登山する前に、登山届を警察に出しましょう。

二、冬山の気象は、常に変るものだと考えて行動しよう。

三、登山装備、食糧は、充分に持つて行こう。

四、無理な登山コースはやめよう

五、一人での登山は、危険だからやめよう。

六、通信機などがあれば携帯し、常に連絡をとりあおう。

この注意を守り、自分の力を過

信せず、心身ともに余裕をもち、堅実な登山をしよう。

なお、悪天候が急転した場合は無理をせず直ちに引返す勇氣をもつて行動して下さい。

（税）（コ）（ナ）

源泉徴収の

還付申告書提出は一月末まで

大野税務署では、二月、三月は所得税確定申告書の時期でたいへん混雑するため「納税証明書の請求」は二月中旬までに、「源泉徴収の還付申告書」は一月末までに提出するよう望んでいます。

なお、前年還付をうけられた方へは、一月中旬までに確定申告書用紙をお送りします。

除雪について

お願い

冬期間中の除雪作業を能率的かつ効果的に進めるため、沿線の皆さんには次の事項を充分認識していただきご協力をお願いいたします。

- 一、道路わきの待避所等における障害物は取り除き、又消火栓、水道栓等には完全な標識を設けること。
- 二、道路上の駐車はなるべくしないこと、又駐車していても除雪車が来たときはすぐに移動すること。
- 三、道路に近い家屋では、庭木等が破損しないように囲いをする

管内の主な電話番号

氏名	番号	氏名	番号
和泉村役場	代2111	和泉村森林組合	2020
中竜支所	2351	福井営林署上大納担当区事務所	2002
中央公民館	2659	福井営林署朝日担当区事務所	2021
老人福祉センター	2655	大谷担当区事務所	2034
教育委員会	2110	下穴馬郵便局	2100
診療所	2650	中竜鉱山郵便局	2500
朝日保育所	2812	建設省九頭竜ダム管理所	代2116
大野地区消防組合和泉分遣所	2119	九頭竜湖駅	2010
和泉村営九頭竜スキー場管理事務所	2651	電源開発局長野発電所事務所	代2131
和泉村学校給食センター	2657	日本亜鉛鉱業㈱	代2221
朝日小学校	2656	箱ヶ瀬防犯連絡所	2653
朝日中学校	2654	福井地方法務局和泉出張所	2613
大納小学校	2350	北陸電力㈱朝日営業分所	2019
大納中学校	2353		
大納幼稚園	2355		
中竜保育所	2356		
朝日派出所	2001		
中竜巡査駐在所	2357		
和泉村農業協同組合	代2011		

雪が降ったら電線にご注意!

北陸電力

- ◎雪おろしの際には、電線にふれないでください。
- ◎木の枝が電線にふれていません
- ◎切れた電線には手をふれないでください。
- ◎危険な個所がありましたら、北陸電力大野営業所朝日分所へお知らせください。電話二〇一九番

「家庭の日」目標

家族のみんなが
いたわりあい
助け合おう